CBTを用いた英語能力測定テスト開発の研究

実践女子大学 英語教育学 石川 祥一 慶応義塾大学 言語テスト論 中村 優治

ishikawa@univ.jissen.ac.jp nkyj@flet.keio.ac.jp

発表者を含めて6名は研究プロジェクト(日本学術振興会科学研究費補助金研究・基盤研究(B)「グローバル化社会における発信型英語教育に対応する大学英語能力テストの開発」課題番号 15320074 研究代表:石川祥一,研究分担者:中村 優治,小林ひろみ,シュナイダー・デニス,岡田敦子,松本佳穂子)として取り組んできた。本発表はこれまでの研究の成果を基にしている。

1 はじめに

コンピュータは言語教育及び言語テストの分野において非常に重要な役割を果たしてきている。テストの作成,テストの実施,テストの採点,item bank の構築,テスト・データの分析,テスト分析発表方法,言語資料の分析など言語教育の分野でコンピュータの貢献なしに語ることはできない。最近はテストの方式が今までのペーパーを主体としたものからコンピュータを介したテスト,即ち「コンピュータ適応型テスト」(Computer Adaptive Test, Computer-Based Test)が開発されて実用に供されている。

このような方式によるテストを英語学力の評価に応用し、特に大学における英語教育の評価に効果的なテストの開発を目指して、グループ研究として日本の大学教育に即した形で英語教育の成果が測定できるようなコンピュータを介したテストの開発を行ってきた。現在開発中である大学英語学力の評価のためのコンピュータを介したテストの作成過程とパイロットテスト、及びコンピュータを介したテスト実施方法、採点評価や分析結果などを報告し、その上でCBTを参加者に体験してもらう予定であり、今後の英語テストの形式・使用法などの改善に役立てたい。

2 英語 CBT (Computer-Based Test) 開発について

英語能力テストでは紙媒体とコンピュータ媒体ではどのような違いがあり,その効果が測れるとしたら何にどのように表れるのか。今までの紙媒体によるテストの形式の内容でよいのかどうかは、テスト作成に当たる際の大いなる疑問となった。例えば,リスニングテストはオーセンティックな教材によって作成されたもの,またリスニング能力を測定評価するには,速度は一定の速度か,または速度に変化を付けた場合には難易度が変化するか,などである。また,4技能の測定評価を目指したテストであ

りながら,スピーキングとライティングのテストは,テスト時間や評価の困難さなど から学校における紙媒体によるテストでは提供されることは少なかった。

今回開発した英語 CBT では,テスト項目はできるだけ大学での英語教育が目指す教授内容に合致するように,さらにそれぞれのレベル別に測定できるように作成してみた。問題はリーディング・リスニング・ライティング・文法 / 語彙の 4 セクションから構成され,それぞれのセクションを組み合わせたテストと各セクションが独立したテストとしての構成が可能となっている。さらに,現在継続して取り組んでいるスピーキング・テストのセクションでは動画を取り入れたものやリスニング・スピードの調節が可能であるようなテストも提示していきたい。

3 CBTの問題作成の実際





登録

登録ボタンで入力した内容が登録されます。

教員画面 / 問題表示(G11110944773.dat)
Subject: English Communicaion, Grammar / Level 1
()に入れるのに最も適当なものをひとつ選び,その記号をクリックしなさい。
Q: 1. A: Don't leave your car (1). B: Why not? A: Because this neighborhood is becoming dangerous.
A. unlock B. unlocking C. unlocked D. to unlock

教員画面 / 問題作成·編集

登録

登録ボタンで入力した内容が登録されます。

Subject: 読解問題	, Reading / Level 1
Label: 継の英文を読み、質問に対して最も適当なものをひと	つ選んで、その記号をクリ☆▲
1. What do we have to do for recycling? A. Find places to bury garbage. B. Put out garabage as often as possible. 1.C Answer:	<u>▼</u>
Options(選択問題のみ):	A V

登録

登録ボタンで入力した内容が登録されます。